

EIDAI

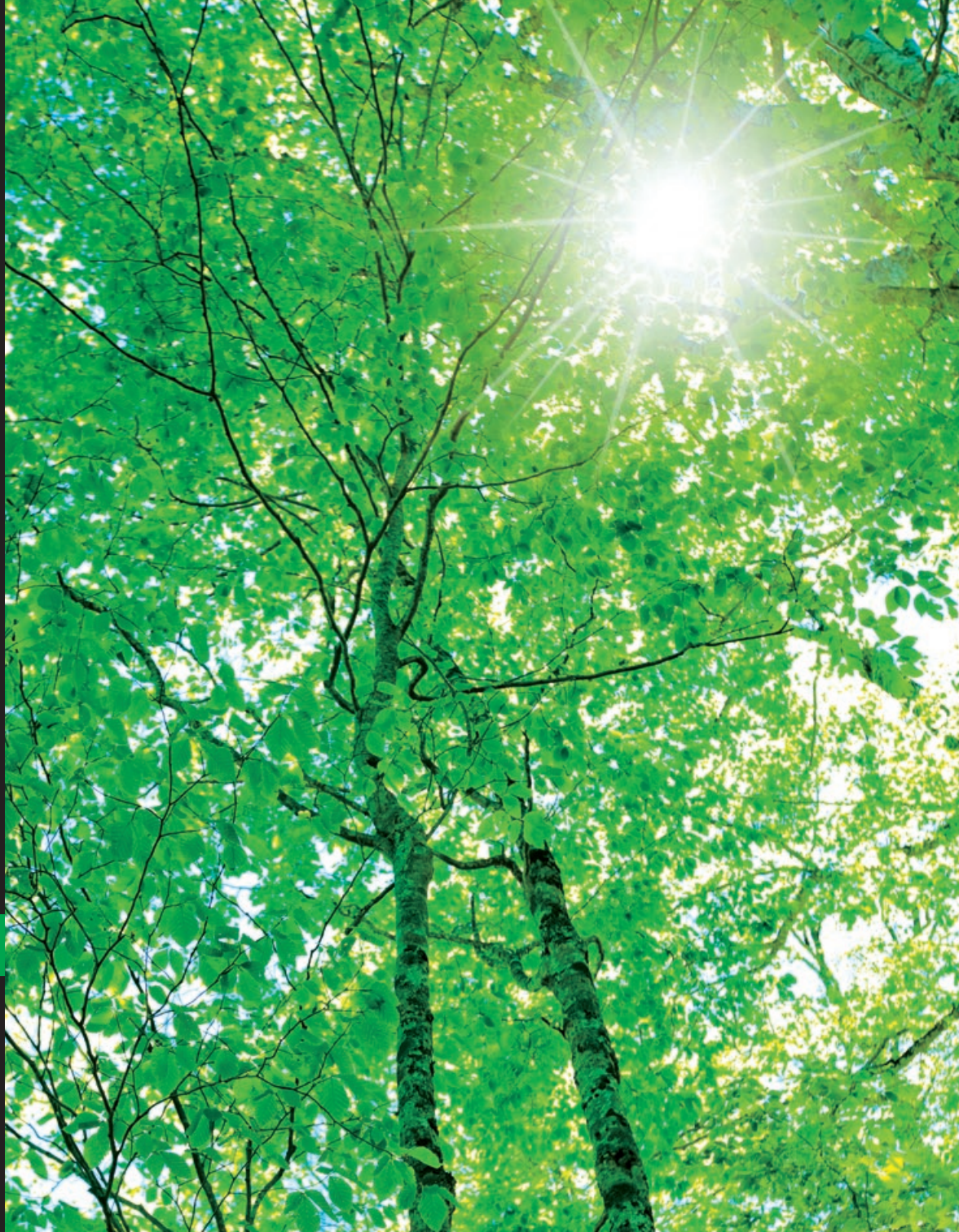
第77期

年次報告書

平成22年4月1日から
平成23年3月31日まで

木を活かし
よりよい暮らしを

永大産業株式会社



木を活かし、よりよい暮らしを

人は遥か昔から「木」と暮らしをともにし、自然と調和してきました。

しかし一方で人は物質的な豊かさを求め過ぎるあまり、深刻な環境破壊を引き起こし、その結果、真の豊かさとは何かを見失ってしまいました。

私たちは住まいづくりの中で「木」を活かし、よりよい暮らしを実現することこそ、本当の豊かさであると確信しています。ただしそれは、この地球で「共に生きる」という思想のもと、持続可能な社会が確立して初めて可能になる、と考えています。

永大産業はそのような社会を構築するため、地球、社会、人との共生を通じて環境保全に取り組み、なお一層、社会に貢献する企業であり続けることを目指しています。

「地球との共生」

永大産業は、持続可能な木材資源の利用を推進するかたわら、役目を終えた木製品や木質廃材が再び社会で利用されるよう、独自のリサイクルシステムで地球環境の保全に努めて参りました。当社は環境との調和を重んじ、地球との共生を継続していきたいと考えています。



「社会との共生」

永大産業は、社会の公器としての立場を認識し、広く情報公開を行い、透明性の高い経営に努めます。当社は法令を遵守し、社会的利益の還元を積極的に行うことで、これからも社会との共生を尊重していきたいと考えています。

「人との共生」

永大産業は、誰にとっても健康的であり、なおかつ安全、安心に使えるモノづくりを目指しています。当社はそれら製品の使い易さ、快適さをさらに追求することで、人との共生をかたちにしたいと考えています。

お客様のニーズや 市場動向に合致した 新製品の開発に取り組みます。

株主の皆様さまにおかれましては、平素からご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

このたびの東日本大震災により被災された皆様には、謹んでお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧を心からお祈り申し上げます。

今回の震災による当社グループへの影響は、従業員及びその家族に人的被害はありませんでしたが、東北地方の各営業所及び連結子会社である小名浜合板株式会社の建屋及び設備の一部に被害を受けました。小名浜合板の操業は地域のライフラインが復旧するに伴い順次再開し、4月上旬には当社グループはすべて震災前の状態に復旧しております。

さて、当社は昭和21年の創業以来、一貫して「木」にこだわった製品をお届けしてまいりました。現在ではフローリングや室内ドアなどの木質建材をはじめ、システムキッチンなどの住宅設備のほか、木質ボードの生産も手がける総合住宅資材メーカーとして、快適な住まいづくりの一翼を担う事業活動を展開しております。

当社グループでは「木を活かし、よりよい暮らしを」を基本理念に掲げ、豊かな住環境の創造に取り組んでいます。製品の原材料にサステナブルな森林資源を用い、また、未利用材や製材端材、さらには役目を終えた木製品や木質廃材も木質ボードの原材料として利用する「環境創造型事業」を通じてより質の高い住まいづくりに挑戦し、広く社会に貢献してまいりたいと考えております。

当連結会計年度は、新興国の経済成長を背景とした輸出の増加や経済政策の効果によって緩やかな回復基調となり、新設住宅着



工戸数も持家や分譲戸建を中心に持ち直しがみられました。このような中、当社グループでは、引き続き固定費削減とコストダウンに取り組むとともに、様々な新製品の発売を軸に積極的な販売活動を推し進めました。建材分野では国産材を活用した「プレミアムク・国産 栗」「プレミアムク・国産 唐松」や文教施設用にも使用可能な「国産杉圧密単板フロア」、内装システム分野では、美しさとコストパフォーマンスに優れた鏡面調ラッピング技術を活かした新シリーズ「アルティモード」を発売し、売上高の増大を図りました。これらの結果、平成19年3月期以来4期ぶりの増収となり、利益水準の回復に結びつきました。

今後の景気見通しは、震災の影響による一時的な落ち込みはあるものの、世界経済の堅調な推移などを背景に、回復基調に戻るものとみられます。

このような環境下、当社では高齢化時代に対応した新製品の開発を各事業分野共通のテーマとして取り組むとともに、環境配慮型基材への早期転換及び国産材の利用を促進し、さらに鏡面調ラッピング技術の幅広い展開による新しいインテリアスタイルの創出等に注力します。また、ベトナムで子会社を設立し、生産の準備を進めております。当社直営工場での生産によるコスト削減と品質維持を図りながら、将来的には海外での販売も視野に入れて取り組んでまいります。

今後とも一層の生産コスト削減と販売促進によって収益を伸ばし、株主の皆様のご期待に沿えるよう努力してまいります。

平成23年6月
代表取締役社長 吉川 康長

生産技術を活かして製品ラインナップを充実させました。

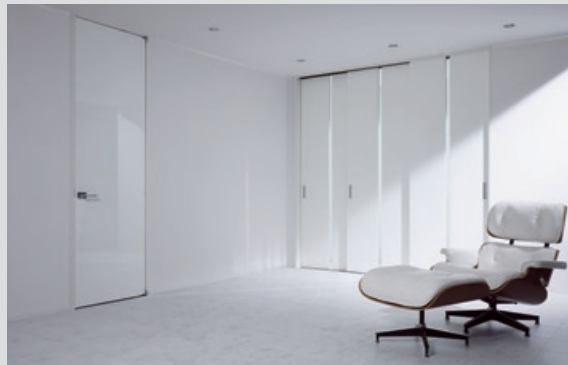
当社独自の鏡面調ラッピング技術

上質な鏡面調仕上げが好評の内装材最上位シリーズ「アルティモード」。今後もこの製品シリーズの充実・強化を図るのは勿論のことですが、この「アルティモード」の製品化を通じて培った、表面シートを美しく貼る鏡面調ラッピング技術や、軽量・強固なフラッシュ加工技術を応用した新製品の開発にも取り組んでいます。

これらの技術を他の内装製品へ水平展開することで、製品ラインナップの充実を図り、お客様のニーズにマッチしたサービスの提供に努めてまいります。

■「アルティモード」

業界初となるフルフラットな鏡面塗装のような仕上がりを、当社独自の鏡面調ラッピング技術で実現しました。「アルティモード」では、室内ドア、クロゼット、シューズボックスをラインナップ。



(アルティモード・室内ドア)

■「新リビングステージ」

リビングルームのTVボード収納として好評を博したリビングステージに鏡面調ラッピング技術を応用するとともに新たなユニットやパーツを取りそろえ、さまざまな空間に設置できるシステム収納へと進化しました。



(新リビングステージ)

国産材の有効活用

■「国産圧密単板フローリング」

国内人工林の44%を占めるスギを活用し、地産地消の観点から地元の材料を活かした文教用として傷がつきにくい圧密処理を施したフローリングを提供しています。子供達への環境教育にも貢献しています。



(国産圧密単板フローリング
福井県坂上市立鳴鹿小学校)

■「プレミアムク・国産 栗」

国産 栗に、反り・曲がりを軽減する形状安定化処理（特許取得）と、すき間や突き上げが目立ちにくいスライドザネを採用することで、これまでの無垢の不安を取り除いた画期的な床暖房無垢フローリングです。



(プレミアムク・国産 栗)

「木を活かし、よりよい暮らしを」を基本理念に掲げる当社では、環境方針として、地球・社会・人との共生を通じて、環境保全に取り組み、なお一層社会に貢献することを目指しています。その具体的な行動指針のひとつに、森林認証材、なかでも植林木を積極的に採用し、地球規模での環境に配慮した資材の利用を高めていく努力をしています。地方自治体においても地産地消の観点から、住宅資材および内装製品への国産材の使用が推奨されています。

「植える・育てる・収穫する・上手に使うというサイクルがCO₂をたくさん吸収する元気な森を作る」といった森を循環させる取り組みが一層重要になっています。

当社では、独自の圧密処理や形状安定化処理を駆使して、材質の強化や、反り、曲がりの軽減を図った国産材を積極的に活用し、人と地域と環境に配慮したフローリング製品の開発に取り組んでまいります。

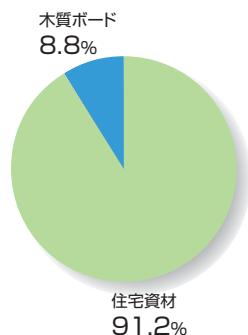
当連結会計年度におけるわが国経済は、新興国の経済成長を背景とした輸出の増加や各種経済政策の効果などにより、企業業績は緩やかな回復傾向となりました。しかしながら、高水準の失業率やデフレと円高の長期化に加え、原油等資源価格の上昇による企業収益への下押し圧力が残るなど、景気の先行き不透明感は一掃されるには至りませんでした。さらに3月に起きた東日本大震災による影響が懸念されております。

住宅業界におきましては、住宅ローン減税や贈与税軽減等の税制措置、住宅エコポイント制度の導入及び住宅ローンの金利優遇政策などの各種施策によって住宅取得意欲が高まり、新設住宅着工戸数は持家や分譲戸建を中心に持ち直しの動きが見られました。

このような状況の中、当社グループでは、「木を活かし、よりよい暮らしを」の基本理念の下、地球環境に配慮しながらより質の高い製品づくりを目指すとともに、積極的な販売活動を推進しました。生産・配送体制の整備や在庫管理の適正化による一層の納期短縮を進め、また、福岡営業所の建て替えと併設するショールームのリニューアルを行いました。さらに、施工例を多数掲載した「建材・内装総合カタログ」を発刊するなど、生産と販売の両面でお客様のご要望に一層お応えすべく注力してまいりました。

以上の結果、厳しいマーケット環境の中でも売上高を増加させることができました。また、損益面では、徹底的な経費削減とコストダウンによる収益構造の改善に売上高の増加が相まって、利益水準を回復することができました。

■ 事業別売上高構成比



■ 住宅資材事業

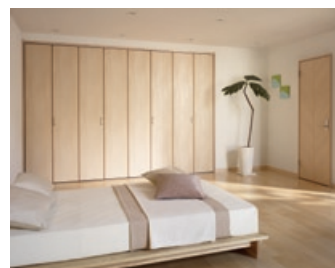
住宅資材事業では、環境配慮に加え、市場ニーズやトレンドを先取りした独自性のある新製品の市場投入を進めてまいりました。

建材分野では、環境配慮型製品を拡充する一環として、新たに国産材を利用したフローリングの新製品開発に注力し、無垢フローリング「プレミアムク・国産 栗」「プレミアムク・国産 唐松」を発売しました。さらに、文教施設用にも使用可能な製品として、傷がつきにくい特殊加工を施した「国産杉圧密単板フロア」を市場投入するに至りました。

内装システム分野では、美しさとコストパフォーマンスに優れた鏡面調ラッピング技術を活かし、室内ドアの新シリーズ「アルティモード」をはじめ、そのラインナップとして新しい意匠性を追求した枠材「アルティモード SS枠」を発売し、拡販を進めました。さらにシステム収納などの既存製品を統廃合して多彩な製品構成とすることで、ますます多様化するマーケットニーズへの柔軟な対応を図りました。

住設分野では、「ゲートスタイルキッチン S-1」をフルモデルチェンジし、市場動向にマッチした価格設定を行うとともに、使い勝手と施工性を向上させました。

これらの新製品を軸に積極的な販売活動を推進し、売上高を伸ばすことができました。



■ 木質ボード事業

木質ボード事業では、構造用市場における建築用下地材の販売先開拓に注力しました。さらに、ホルムアルデヒド放散量が極めて低い「リラックス」を基材とした化粧パーティクルボードを、学校や医療施設などの非住宅向けや健康志向を重視するハウスメーカーに対して、積極的な販売活動を展開しました。

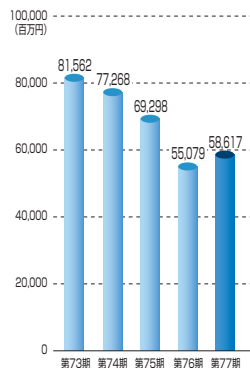
厳しい価格競争の中で適正な販売価格の維持に努めるとともに、より一層の経費削減とコストダウンを推し進めて収益構造の改善を図った結果、売上高は伸び悩みましたが、利益を確保することができました。



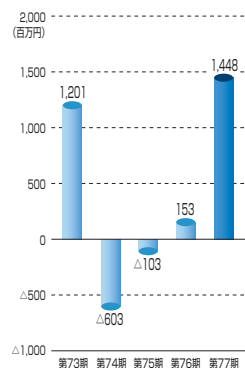
財務ハイライト（連結）

Financial Highlights

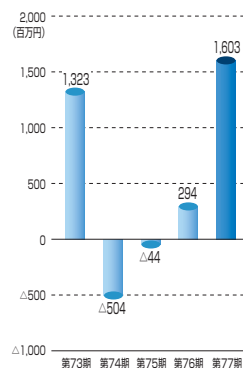
売上高



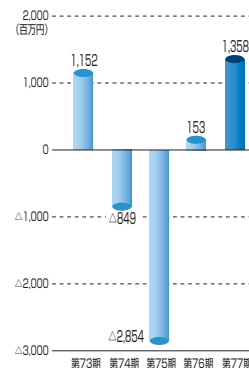
営業利益



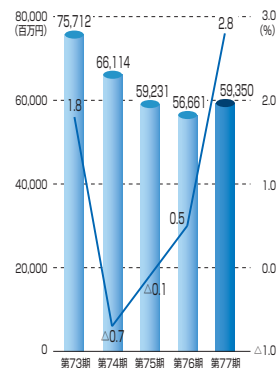
経常利益



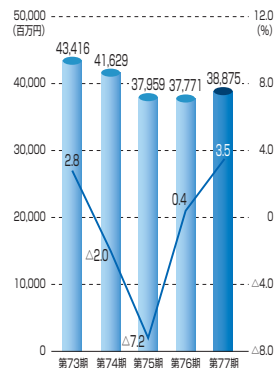
当期純利益



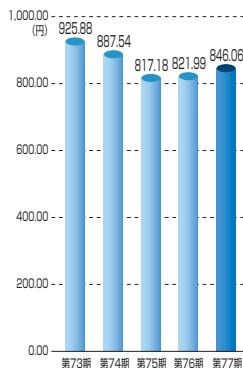
総資産・総資産経常利益率(ROA)



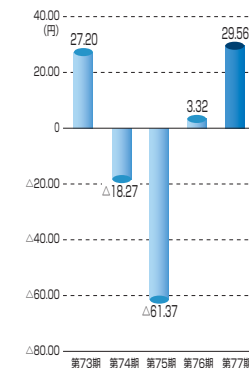
純資産・自己資本当期純利益率(ROE)



1株当たり純資産



1株当たり当期純利益



※百万円未満は切り捨て表示をしています。

■ 連結貸借対照表

(単位: 百万円)

科目	当期末 (平成23年3月31日現在)	前期末 (平成22年3月31日現在)
(資産の部)		
流動資産	45,289	41,722
現金及び預金	12,523	12,979
受取手形及び売掛金	19,872	18,905
有価証券	2,609	1,000
製品	3,400	2,934
仕掛品	1,735	1,876
原材料及び貯蔵品	2,644	2,095
繰延税金資産	546	271
未収入金	1,811	1,507
その他	146	154
貸倒引当金	△2	△2
固定資産	14,060	14,938
有形固定資産	8,945	9,484
建物及び構築物	3,121	3,261
機械装置及び運搬具	2,006	2,492
土地	3,462	3,462
リース資産	162	—
建設仮勘定	6	28
その他	185	239
無形固定資産	496	777
投資その他の資産	4,618	4,675
投資有価証券	2,481	2,411
出資金	6	6
長期前払費用	301	396
繰延税金資産	222	244
長期預金	1,000	1,000
その他	627	635
貸倒引当金	△19	△19
資産合計	59,350	56,661

科目	当期末 (平成23年3月31日現在)	前期末 (平成22年3月31日現在)
(負債の部)		
流動負債	16,624	14,151
支払手形及び買掛金	12,615	10,696
リース債務	40	—
未払金	2,585	1,946
未払費用	518	514
未払法人税等	79	67
未払消費税等	108	232
賞与引当金	539	538
災害損失引当金	19	—
設備関係支払手形	75	110
その他	41	45
固定負債	3,850	4,738
リース債務	131	—
繰延税金負債	39	—
退職給付引当金	2,740	3,832
環境対策引当金	135	—
資産除去債務	12	—
負ののれん	591	680
長期預り保証金	109	110
その他	90	114
負債合計	20,474	18,889
(純資産の部)		
株主資本	38,732	37,834
資本金	3,285	3,285
資本剰余金	1,370	1,370
利益剰余金	34,234	33,335
自己株式	△157	△156
その他の包括利益累計額	142	△62
その他有価証券評価差額金	142	△62
純資産合計	38,875	37,771
負債純資産合計	59,350	56,661

※百万円未満は切り捨て表示をしています。

■ 連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	当期 (平成22年4月1日から 平成23年3月31日まで)	前期 (平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで)
売上高	58,617	55,079
売上原価	44,260	41,969
売上総利益	14,356	13,110
販売費及び一般管理費	12,908	12,957
営業利益	1,448	153
営業外収益	390	390
営業外費用	235	249
経常利益	1,603	294
特別利益	93	3
特別損失	534	38
税金等調整前当期純利益	1,162	258
法人税、住民税及び事業税	53	50
法人税等調整額	△249	53
法人税等合計	△196	104
少数株主損益調整前当期純利益	1,358	—
当期純利益	1,358	153

■ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	当期 (平成22年4月1日から 平成23年3月31日まで)	前期 (平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,225	4,210
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,295	679
財務活動によるキャッシュ・フロー	△487	△688
短期借入金の純増減額	—	△122
リース債務の返済による支出	△27	—
自己株式の取得による支出	△0	△102
配当金の支払額	△459	△464
現金及び現金同等物に係る換算差額	△8	△13
現金及び現金同等物の増減額	432	4,187
現金及び現金同等物の期首残高	13,824	9,637
現金及び現金同等物の期末残高	14,257	13,824

■ 連結株主資本等変動計算書

当期（平成22年4月1日から平成23年3月31日まで）

(単位：百万円)

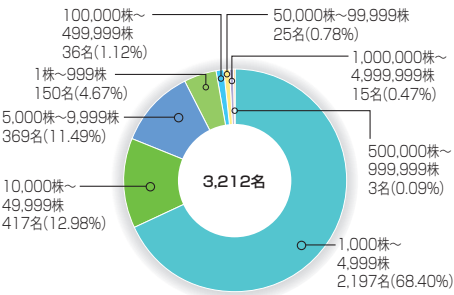
	株主資本					その他の包括 利益累計額	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他有価証券 評価差額金	
平成22年3月31日残高	3,285	1,370	33,335	△156	37,834	△62	37,771
連結会計年度中の変動額							
剰余金の配当			△459		△459		△459
当期純利益			1,358		1,358		1,358
自己株式の取得				△0	△0		△0
株主資本以外の項目の連結 会計年度中の変動額（純額）						205	205
連結会計年度中の変動額合計	—	—	899	△0	898	205	1,104
平成23年3月31日残高	3,285	1,370	34,234	△157	38,732	142	38,875

発行可能株式総数	160,000,000株
発行済株式の総数	46,783,800株
株主数	3,212名
大株主	

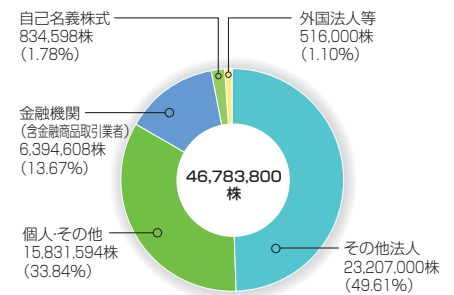
株主名	持株数	持株比率
永大産業取引先持株会	3,008千株	6.55%
永大産業従業員持株会	2,323	5.06
住友林業株式会社	2,306	5.02
大日本印刷株式会社	2,237	4.87
株式会社りそな銀行	1,640	3.57
トーヨーマテリア株式会社	1,550	3.37
三井住友海上火災保険株式会社	1,518	3.30
東銀リース株式会社	1,495	3.25
すてきナイスグループ株式会社	1,460	3.18
双日株式会社	1,204	2.62

（注）持株比率は自己株式（834,598株）を控除して計算しております。

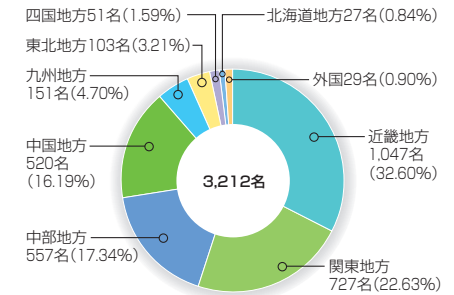
所有株式数別株主分布状況



所有者別株式分布状況



地域別株主分布状況



■ 会社概要

(平成23年3月31日現在)

社名

永大産業株式会社(Eidai Co., Ltd.)

設立

昭和21年7月29日

資本金

3,285,301千円

従業員数

1,085名

本社

〒5559-8658
大阪市住之江区平林南二丁目10番60号
Tel. 06-6684-3000

ホームページ

<http://www.eidai.com>

■ 役員・執行役員

(平成23年6月29日現在)

代表取締役	執行役員社長	吉川康長
代表取締役	専務執行役員	大道正人
取締役	常務執行役員	木村康博
取締役	常務執行役員	熊沢衛司
取締役	上席執行役員	山岸正明
取締役	上席執行役員	山岸秀之
取締役	上席執行役員	植村正人
取締役	上席執行役員	枝園統博
監査役	(常勤)	米野兼史
監査役	(常勤)	三上恵司
監査役		今村祐嗣
監査役		櫻田典子
執行役員		久後健二
執行役員		鷹山伸一
執行役員		西村明

■ グループ会社

(平成23年3月31日現在)

小名浜合板株式会社（福島県）

永大テクニカ株式会社（大阪市）

永大スタッフサービス株式会社（大阪市）

永大テクノサポート株式会社（大阪市）

エヌ・アンド・イー株式会社（徳島県）

■ ネットワーク

(平成23年3月31日現在)

営業所

札幌・青森・盛岡・仙台・山形・福島・新潟・宇都宮・茨城・群馬・埼玉・千葉・柏・東京・東京西・相模原・横浜・山梨・長野・金沢・静岡・名古屋・三重・京都・大阪・神戸・姫路・岡山・広島・米子・山口・高松・松山・北九州・福岡・長崎・熊本・鹿児島・沖縄

ショールーム

札幌・仙台・新宿・新潟・金沢・静岡・名古屋・京都・梅田・岡山・広島・博多・沖縄



大阪事業所



山口・平生事業所



敦賀事業所

株主メモ

- 上場証券取引所 東京証券取引所 市場第二部
- 証券コード 7822
- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 毎年6月に開催
- 剰余金の配当基準日 期末 毎年3月31日
中間配当を行うときは9月30日
- 公告方法 電子公告
当社ホームページアドレス <http://www.eidai.com>
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
- 株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
- 同 連 絡 先 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
電話 フリーダイヤル 0120-094-777

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることになっておりますので、口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

永大産業株式会社

〒559-8658
大阪市住之江区平林南二丁目10番60号
TEL 06-6684-3000



ホームページのご案内

<http://www.eidai.com>

当社のことをよりわかりやすく、より理解していただけるように、ホームページで紹介しています。

トップページでは、当社の事業活動そのものが環境保全活動であることの説明をしています。

会社情報につきましては、「会社案内」「IR情報」「環境について」といったコンテンツに分けることで、株主・投資家の皆様がIR情報へアクセスしていただきやすくするなど、当社の情報を探しやすい、見やすい工夫を凝らしています。また、「IRニュース」、「株価情報」というコンテンツを設け、積極的な情報開示を行っています。



トップページ



IR情報